

小樽商科大学 卒業論文（平成3年度）

年度	番号	論題 (Theme)	備考
平成3	9040	実験計画法	
平成3	9041	回帰分析について	
平成3	9042	時系列分析	
平成3	9043	SASを用いた回帰分析	
平成3	9044	因子分析法—その手法・応用について—	
平成3	9045	独占理論の確立	
平成3	9046	初期J.S.ミルの思想の変化	
平成3	9047	ケネディの経済政策とレーガンの経済政策	
平成3	9048	エコロジーの経済	
平成3	9049	経済学的観点による河上肇思想史	
平成3	9050	インフレーション	
平成3	9051	余剰価値の生産と資本蓄積	
平成3	9052	諸藩の経済改革がもたらした幕末・維新	
平成3	9053	J.K.ガルブレイスの経済思想—不確実な時代の中での実際性—	
平成3	9054	アメリカの対外不均衡について	
平成3	9055	日本の自動車産業及びその国際経済における役割	
平成3	9056	高齢化時代	
平成3	9057	アーモンラック	
平成3	9058	OLS、プロビットモデル、ロジットモデルによるモデル分析	
平成3	9059	日本の自動車産業と自動車の将来	
平成3	9060	TSPにおける質的選択モデルの分析	
平成3	9061	欧州と日本について	
平成3	9062	緑の地球	
平成3	9063	EC統合とその連合諸国の政治・経済	
平成3	9064	アドルフ・ヒラー論—なぜ、独裁者が出現したのか—	
平成3	9065	ラテンアメリカ経済の破綻とその軌跡—累積債務問題—	
平成3	9066	昭和恐慌時の北海道経済	
平成3	9067	韓国経済の発展経路	
平成3	9068	新経済政策からスターリン体制へ	
平成3	9069	ニューディール政策論	
平成3	9070	多民族国家アメリカにおけるマイリティー・グループ	
平成3	9071	外国から見た開国前後の日本—列強とペリーの日本観—	
平成3	9072	幕末開港期の貨幣問題	
平成3	9073	アイルランド自由国の成立過程	
平成3	9074	榎本武揚と蝦夷地	
平成3	9075	均衡為替レートに関する一考察	
平成3	9076	石油市場に関する経済分析	
平成3	9077	国際発展途上国の経済発展と累積債務に関する研究	
平成3	9078	韓国経済と台湾経済の比較分析	
平成3	9079	経済統合に関する研究	
平成3	9080	貿易政策に関する一考察	
平成3	9081	開放マクロモデルについての研究	
平成3	9082	直接的リスク・マネジメント	
平成3	9083	累積公債問題と国際金融市場	
平成3	9084	工業品における日米貿易摩擦の日本側の要因	
平成3	9085	国際労働移動	
平成3	9086	日本のコメ市場開放問題	
平成3	9087	先進国間海外直接投資の課題	
平成3	9088	日米摩擦の真相と今後の展望	
平成3	9089	米国の赤字問題について	
平成3	9090	規模の経済と諸問題	
平成3	9091	発展途上国の貿易と成長について	
平成3	9092	アジアNIESの発展とその貿易問題	
平成3	9093	「大恐慌」の研究	
平成3	9094	株式形成功ニスム	
平成3	9095	マネーサプライ政策の時系列分析	

小樽商科大学 卒業論文 (平成3年度)

年度	番号	論題 (Theme)	備考
平成3	9096	オプション戦略	
平成3	9097	商品先物取引の理論	
平成3	9098	EC市場統合による経済効果と通貨統合の行方	
平成3	9099	レーガミックス「功」と「罪」について	
平成3	9100	農業保護とコメ自由化問題	
平成3	9101	資産選択の理論	
平成3	9102	外食産業の展望	
平成3	9103	ソ連の経営システム	
平成3	9104	我が国の余暇拡大の消費への影響	
平成3	9105	広告と市場集中	
平成3	9106	アメリカにおける企業合同とその効果	
平成3	9107	食品業界の現状と展望	
平成3	9108	医薬品産業における産業組織論的考察	
平成3	9109	広告と経済集中	
平成3	9110	自然独占の正当性	
平成3	9111	企業と広告	
平成3	9112	日本の住宅問題	
平成3	9113	日本の株価とバブル	
平成3	9114	日本経済に於ける金融政策の有効性	
平成3	9115	日本型労務管理と過労死	
平成3	9116	日本企業の英国進出 -日本の経営システムはイギリスで通用するか-	
平成3	9117	日本自動車産業におけるホンダ -その成長と成熟-	
平成3	9118	企業集団の崩壊	
平成3	9119	日本労働市場における二重構造的性	
平成3	9120	社会的性格と社会構造	
平成3	9121	日本における労務管理の生成と発展 -テイラの科学的管理法の導入-	
平成3	9122	労働の機械化と一次元的人間 -労働過程論の社会学的考察-	
平成3	9123	アメリカ製造業における人間労働統制 1880-1915	
平成3	9124	アメリカ労働運動の発生と確立	
平成3	9125	フォード・システム研究	
平成3	9126	技術革新(ME化)と今日の労働生活	
平成3	9127	日本企業の特殊性とM&A	
平成3	9128	わが国におけるM&Aの現状と展望-株式持ち合いの行方-	
平成3	9129	都市銀行と企業集団	
平成3	9130	これからの女子労働者たちへ	
平成3	9131	外資系企業の現状と将来	
平成3	9132	国際化の中の自動車産業	
平成3	9133	中国の改革と開放 -企業とその周辺環境の変化-	
平成3	9134	ドイツ経済統合と企業	
平成3	9135	わが国現代組織における環境適応 -コンティンジェンシー理論による実証研究-	
平成3	9136	北海道経済の現状と今後の発展	
平成3	9137	日本・ソ連貿易の変遷と今後の対共和国経済協力	
平成3	9138	中国経済の変遷	
平成3	9139	中国民族区域自治について考察	
平成3	9140	東欧諸国の外貨不足問題における歴史的考察	
平成3	9141	ゴルバチョフ改革の成果 -人間的ファクターを中心として-	
平成3	9142	カナダ経済の史的展開と米加自由貿易協定の意義	
平成3	9143	社会責任会計-付加価値計算書の実務化へ向けての-考察	
平成3	9144	減価償却における問題点の実態 -現状の耐用年数論について-	
平成3	9145	外貨換算会計 -本国主義会計と現地主義会計-	
平成3	9146	会計情報の特性	
平成3	9147	経営分析-有価証券報告書によるアサヒビール <sup>®</sup> の事例研究-	
平成3	9148	EC会計制度調和化論	
平成3	9149	資本市場における会計情報の有用性	
平成3	9150	M&Aにおける企業票かとかその会計処理	
平成3	9151	財務諸表分析 -分析領域の確定と理論的体系化についての考察-	

小樽商科大学 卒業論文 (平成3年度)

年度	番号	論題 (Theme)	備考
平成3	9152	会計ディスクロージャー	
平成3	9153	エクイティ・ファイナンス	
平成3	9154	金融改革下の銀行	
平成3	9155	わが国企業会計制度における企業会計原則の位置付け	
平成3	9156	企業会計原則における損益計算書原則の検討	
平成3	9157	ジョイント・ベンチャー会計	
平成3	9158	銀行会計	
平成3	9159	株式の評価基準についての考察	
平成3	9160	財務諸表分析 -日本航空の事例分析-	
平成3	9161	企業会計原則の展望	
平成3	9162	会計ディスクロージャーにおける日米比較	
平成3	9163	財務諸表分析	
平成3	9164	大会社保護	
平成3	9165	資本維持論	
平成3	9166	会社における重要性概念の意義	
平成3	9167	制度会計における取得原価主義と時価情報	
平成3	9168	帳簿組織の発展と諸問題	
平成3	9169	有形固定資産の減価償却について	
平成3	9170	当期業績主義と包括主義	
平成3	9171	直接原価計算と全部原価計算の関係を探る	
平成3	9172	損益分岐点分析 -線型計画法への発展-	
平成3	9173	SASによる財務諸表分析	
平成3	9174	損益分岐点分析および線形計画法による予算管理	
平成3	9175	主成分分析による企業評価モデル	
平成3	9176	棚卸資産評価における直接原価計算の有用性の検討	
平成3	9177	直接原価計算と棚卸資産評価について	
平成3	9178	不確実性環境下におけるCVP分析	
平成3	9179	習熟曲線の考察	
平成3	9180	CVP分析の有用性と展開	
平成3	9181	主成分分析による経営分析	
平成3	9182	直接原価計算と外部報告	
平成3	9183	標準原価計算の歴史的考察と展望	
平成3	9184	経営分析とその実践	
平成3	9185	直接原価計算の利益計画への有用性	
平成3	9186	直接原価計算と利益計画	
平成3	9187	事業部制における業績評価 -資本利益率を中心として-	
平成3	9188	直接原価計算の利益計画への利用	
平成3	9189	損益分岐点分析 -総費用線についての研究-	
平成3	9190	設備投資計画の研究	
平成3	9191	F1グランプリと日本企業	
平成3	9192	企業とイメージ	
平成3	9193	花王とライオンのVAN戦略	
平成3	9194	ヤオハンの国内戦略 -ローカルスーパーからの脱出-	
平成3	9195	玩具業界における競争構造の分析	
平成3	9196	エコマーケティング -環境に優しい企業戦略-	
平成3	9197	市場成熟化に対するヒット商品の意味について	
平成3	9198	日本語パーソナルワードプロセッサの価格/製品戦略	
平成3	9199	証券手数料自由化についての一考察	
平成3	9200	国際通貨体制とSDR	
平成3	9201	金融機関としての損害保険	
平成3	9202	金融自由化と環境設備	
平成3	9203	現代株式会社論 -有井行夫氏の所論-	
平成3	9204	邦銀の海外進出と円の国際化	
平成3	9205	EC市場統合と通貨統合	
平成3	9206	日本における金融システムの変遷	
平成3	9207	金融自由化とバブル経済	

小樽商科大学 卒業論文（平成3年度）

年度	番号	論題 (Theme)	備考
平成3	9208	高齢化社会と年金制度に関する考察	
平成3	9209	中小企業における企業年金 -企業年金・退職金制度の歴史と現状-	
平成3	9210	企業年金における考察	
平成3	9211	再保険の機能	
平成3	9212	生命保険業の販売体制における考察	
平成3	9213	わが国の国民健康保険の現状	
平成3	9214	我が国の企業集団における生命保険会社の役割 -株式所有動機-	
平成3	9215	保険業におけるロイズの歴史的意義	
平成3	9216	近代的生命保険の生成とその歴史的背景について	
平成3	9217	保険企業の金融機関化及び保険業の金融業化について	
平成3	9218	わが国における生命保険商品の変遷	
平成3	9219	生保の商品製作に関する考察	
平成3	9220	損害保険と生命保険の分野調整	
平成3	9221	高齢化社会の年金制度	
平成3	9222	企業年金に関する考察	
平成3	9223	生命保険会社における福祉性と営業性の協調と対立	
平成3	9224	日米M&Aの現状と展望	
平成3	9225	日本のODA -その現状と課題-	
平成3	9226	日本のM&A	
平成3	9227	インドネシア -遅れた経済発展・工業化の考察と展望-	
平成3	9228	日本の外国人労働者問題	
平成3	9229	EC市場における自動車産業	
平成3	9230	外資系企業の日本における経営戦略	
平成3	9231	日本人の心理特性と日本人的経営	
平成3	9232	環日本海経済圏構想の展望	
平成3	9233	オーディオ・ビジュアル業界における海外進出	
平成3	9234	米国カラーテレビ市場における日本企業	
平成3	9235	多国籍企業における海外諸活動間の選択及び組み合わせ問題	
平成3	9236	日本の大規模小売業	
平成3	9237	Hybrid Productsについての原産地効果 -商大生のアンケート調査をもとに-	
平成3	9238	韓国経済における財閥の抱える問題点についての一考察	
平成3	9239	セールス・プロモーションの日米比較	
平成3	9240	小島命題の一考察	
平成3	9241	多国籍企業の内部化理論と国際戦略に関する考察	
平成3	9242	住民訴訟制度と川崎市役所汚職事件	
平成3	9243	京都MKタクシー運賃値下訴訟判例研究	
平成3	9244	国公立大学における学生の在学関係にみる地位と権利	
平成3	9245	最近の行政指導をめぐる判例	
平成3	9246	オンブズマン制度を考える	
平成3	9247	体育課外クラブ活動中の事故と国家賠償責任	
平成3	9248	酒税法における酒税賦課及び免許制度に関する問題点	
平成3	9249	最近の水泳事故と国家賠償	
平成3	9250	印鑑登録証明に関する国家賠償責任の考察	
平成3	9251	情報公開条例 -その判定の経緯と判例の研究-	
平成3	9252	「伊達火力発電所設置をめぐる行政訴訟」について	
平成3	9253	報道の自由と取材の自由	
平成3	9254	予防接種事故と国家賠償 -小樽種痘禍訴訟をめぐる-	
平成3	9255	違反車両追跡中の事故と国家賠償	
平成3	9256	監獄と人権	
平成3	9257	国際人権規約と憲法	
平成3	9258	人権規定の第三者効力	
平成3	9259	人権としての環境権の確立	
平成3	9260	統治行為論に関する一考察	
平成3	9261	憲法と条約における一考察	
平成3	9262	労働基本権と政治ス	
平成3	9263	教科書検定と検閲問題	

小樽商科大学 卒業論文（平成3年度）

年度	番号	論題 (Theme)	備考
平成3	9264	外国人の人権に関する考察	
平成3	9265	「代用監獄」とその諸問題	
平成3	9266	権力分立と行政国家	
平成3	9267	外国人の基本的人権	
平成3	9268	借地借家法の概要と正当事由判断についての考察	
平成3	9269	民法94条2項の類推適用とその限界について	
平成3	9270	不動産登記公信力の立法論とその現状	
平成3	9271	名誉毀損における民事上の保護法益	
平成3	9272	債務不履行による損害賠償額算定の基準時について	
平成3	9273	譲渡担保 -その歴史と判例にみる変化-	
平成3	9274	不動産賃借人に対する賃料請求と登記の要否	
平成3	9275	わが国における都市開発の問題点とその考察	
平成3	9276	労働基底欠如の場合の危険負担	
平成3	9277	集合動産譲渡担保	
平成3	9278	集合債権の担保	
平成3	9279	人身侵害における逸失利益の算定	
平成3	9280	公害問題にみる共同不法行為論 -大気汚染を中心に-	
平成3	9281	債権の移転と相殺	
平成3	9282	製造者責任	
平成3	9283	保険金請求権への物上代位と保険金請求権上の質権との優劣	
平成3	9284	株式分割制度と税法との関連について	
平成3	9285	インサイダー取引規制	
平成3	9286	取締役の監視義務と第三者責任	
平成3	9287	カルテルの立証	
平成3	9288	M&Aの研究	
平成3	9289	夢野久作再考・現在の久作	
平成3	9290	日米構造協議をめぐる独禁法問題	
平成3	9291	日本的取引慣行 -リベートと希望小売価格制度-	
平成3	9292	価格理論の基礎と現代の市場機構	
平成3	9293	原発不振の要因を探る -原発をめぐる法律問題-	
平成3	9294	わが国における行政指導とカルテルの関係	
平成3	9295	学校事故裁判における問題点	
平成3	9296	クラス・アクション	
平成3	9297	自然保護と環境破壊の事前防止	
平成3	9298	製造物責任の研究	
平成3	9299	失火責任法の制定過程とその法理と判例	
平成3	9300	一般市民と裁判	
平成3	9301	情報化社会とプライバシー	
平成3	9302	日本の司法制度の現状と課題	
平成3	9303	日本人は裁判嫌いか否か	
平成3	9304	栗山ケム禍事件	
平成3	9305	北海道における環境問題	
平成3	9306	権利能力なき社団との融資取引	
平成3	9307	手形抗弁の分類	
平成3	9308	取引先の破産と相殺制度	
平成3	9309	米国連邦破産法1編11章(chapter 11)の運用	
平成3	9310	手形の交付欠缺の際の署名者責任	
平成3	9311	共同代表取締役の一人が専断的になした代表行為の効力	
平成3	9312	自己株式取得における考察	
平成3	9313	不動産の二重譲渡における悪意の第二の買主	
平成3	9314	法定地上権の成否をめぐる諸問題	
平成3	9315	支配人と表見支配人に関する一考察	
平成3	9316	取立委任裏書に関する一考察	
平成3	9317	地域統合とGATT -EC統合及び米加自由貿易協定-	
平成3	9318	日米半導体協定をめぐる諸問題	
平成3	9319	日本のラベリング慣行に関するパネル報告	

小樽商科大学 卒業論文 (平成3年度)

年度	番号	論題 (Theme)	備考
平成3	9320	農産物輸入自由化問題	
平成3	9321	ガット19条に置けるセーフガード措置とその他の輸入制限	
平成3	9322	GATTと米国農産物貿易	
平成3	9323	ガットの対抗措置と米通商法301条及びスーパー301条	
平成3	9324	ガットにおける補助金のあり方	
平成3	9325	不能犯論における客観説の客観性の検証	
平成3	9326	我が国におけるTop Management 公務員を賄賂罪にて立証する為の考察 -内閣総理大臣の職務権限に関する検討を中心として-	
平成3	9327	名誉に対する罪の諸問題	
平成3	9328	不真正不作為犯論	
平成3	9329	責任能力 -心神喪失と心神耗弱-	
平成3	9330	刑法学における「信頼の原則」	
平成3	9331	わが国における死刑制度	
平成3	9332	違法性の錯誤 -責任説と違法性の意識の可能性-	
平成3	9333	人の終期 -脳死説の考察-	
平成3	9334	少額裁判制度について	
平成3	9335	宗教団体内部の紛争と審判権の限界	
平成3	9336	弁論主義の適用に関する諸問題	
平成3	9337	ガソリンスタンドの経営戦略	
平成3	9338	水泳 -スポーツ科学、生理学からみた商大水泳部1990-	
平成3	9339	色彩について	
平成3	9340	ORの変遷	
平成3	9341	FACE -顔について-	
平成3	9342	自動車の輸出入における経済効果	
平成3	9343	人口知能の現状	
平成3	9344	メニューによってデータ入力を工夫したシステム設計とプログラミング	
平成3	9345	Prologによる自然言語処理	
平成3	9346	オブジェクト指向プログラミングの将来性と実用性の検討	
平成3	9347	金融自由化戦略 -本格的サバイバル時代に向けて-	
平成3	9348	競争優位の戦略	
平成3	9349	企業の危機対応 -危機から好機そして成長へ-	
平成3	9350	現代企業革新 -最先端企業創造の新段階-	
平成3	9351	ホロン・マネジメント	
平成3	9352	知識創造型マネジメント -経営革新による21世紀へ向けての企業像-	
平成3	9353	これからの日本におけるM&A戦略	
平成3	9354	オブジェクト指向設計に関する一考察	
平成3	9355	改札口のシミュレーション	
平成3	9356	コンピュータ会計システムについて	
平成3	9357	オペレーティングシステムにおける待ち行列の解析	
平成3	9358	オブジェクト思考とC++	
平成3	9359	リレーショナルデータベースの構築	
平成3	9360	関係データベースシステムの研究	
平成3	9361	自然言語処理と機械翻訳の研究	
平成3	9362	NeXTのもとでコンピュータミュージック -NeXTを使って音楽に挑戦する-	
平成3	9363	Lotus Improvによるマーケティング	
平成3	9364	ファジィ推論についての考察	
平成3	9365	Mathematicalによる線形代数	
平成3	9366	束縛実現方式によるLISP処理系の効率比較	
平成3	9367	株価の変動と統計的分析	
平成3	9368	サービス時間が従属な多段待ち行列のシミュレーション	
平成3	9369	GPSSによる有限容量同時サービス並進待ち行列のシミュレーション	
平成3	9370	同時サービス並進待ち行列の入力制御に関する研究	
平成3	9371	GPSSによる机不足待ち行列のシミュレーション	
平成3	9372	GPSSによる巡回形多重待ち行列のシミュレーション	
平成3	9373	マルチプロセッサにおけるメモリアクセス競合に関する研究	
平成3	9374	SIMANとGPSSのシステム記述能力に関する研究	

小樽商科大学 卒業論文 (平成3年度)

年度	番号	論題 (Theme)	備考
平成3	9375	有限マルコフ連鎖の状態分類アルゴリズムに関する研究	
平成3	9376	寡占市場における均衡	
平成3	9377	非協力ゲームにおける情報の有効性	
平成3	9378	現実社会におけるシャープレイ値の活用	
平成3	9379	協力ゲームとコア	
平成3	9380	シャープレイ値の概念と応用	
平成3	9381	協力ゲーム理論の行動基準や合理性の公準	
平成3	9382	協力ゲーム理論における $\tau$ 値に関する考察	
平成3	9383	2人ゼロ和ゲームにおける行動選択の可能性とその考察	
平成3	9384	安定集合の概念と反例の考察	
平成3	9385	展開形ゲームに関する研究	
平成3	9386	戦略ゲームの研究	
平成3	9387	多段階生産在庫システムのHybrid管理	
平成3	9388	ソフトシステム方法論に関する一考察	
平成3	9389	ペトリネットによるフレキシブル生産システムのモデル化に関する研究	
平成3	9390	多段階・多期間・多品目生産システムにおけるかんぱん方式最適運用法	
平成3	9391	企業の多目的最適化に関する研究	
平成3	9392	コンピュータ支援工程設計に関する研究	
平成3	9393	組織知能とエキスパート・システム	
平成3	9394	多段階・動的在庫システムのシミュレーション実験	
平成3	9395	パラメトリック2次計画法	
平成3	9396	カーマーカー法について	
平成3	9397	Hawthorn's Sin and its Settlement in The Scarlet Letter	
平成3	9398	The Change of the Consciousness of Black People in the black Music	
平成3	9399	HEMINGWAY AND WOMEN	
平成3	9400	A Vocabulary Analysis of the Senior English I, II and II B	
平成3	9401	A Vocabulary Analysis of The New Age English I, II, II B with Wprd Index and Frequency List.	
平成3	9402	The World of Fantasy in The Hobbit Written by J.R.R.tolkien	
平成3	9403	The Doors to Narnia	
平成3	9404	A Vocabulary Analysis of A Better Guide to English I, II, and II B	
平成3	9405	Edith Nesbit and her Children	
平成3	9406	Jane Eyre : Towards a New Type of Women	
平成3	9407	A Study of The Catcher in the Rey	
平成3	9408	Errors in English Textbooks in Japan.	
平成3	9409	On Past Tense in Japanese	
平成3	9410	On the Reaching Method of English Pronunciation	
平成3	9411	Difference between Okinawa Dialect and Standard Japanese	
平成3	9412	On the Positions of Only	
平成3	9413	On Current Japanese Education	
平成3	9414	Some Consideration of Hokkaido Dialect	
平成3	9415	Phrasal Verbs their World Order	
平成3	9416	English Education in Japan	
平成3	9417	The Wishful Thinking of Lord of the Files	
平成3	9418	The Black Studies of the United States of America	
平成3	9419	Lord of the Files a Study	
平成3		「9420」は修士論文	